

# BSIJ 国際委員会セミナー

## － ICMS 最新版の解説と PAQS 報告 －

国際委員会ではPAQS (太平洋QS国際会議) への参加や、ICMS (国際コスト管理基準) の翻訳、普及などの活動を行っております。

ICMSは、国や地域を問わず建設プロジェクトのコスト比較と評価を国際的なルールに則って可能にするコスト分類システムであり、BIMのコード体系との一貫性を持った定義やフォーマットで構成されています。したがって、積算の基準や商習慣などが異なり、コストの表現や解釈を巡ったトラブルや、発注者の投資リスク増大などの問題を解決するためにも有効な国際規格とも考えられます。

ICMSは、PAQS2017にて第1版が発表され、2021年11月には最新の第3版がリリースされています。日本国内での利用事例は少ないですが、これからの建設市場のグローバル化には有益な情報と考え、ICMS最新版の解説や利用事例を解説することとしました。

また、国際委員会では、会員の皆様からの寄付金を元にYQS (Young QS) 部会にてPAQSでの国際活動を行っております。当日は、昨年開催されたPAQS2022におけるYQS部会の参加報告も併せて行います。是非、皆様のご参加をお待ちしております。

主 催：(公社)日本建築積算協会

後 援：国土交通省

### ■開催概要■

テ ー マ 「ICMS 最新版の解説と PAQS 報告」

日 時：2023年5月10日(水) 15時～17時

会 場：ZOOMによるオンラインセミナー

参 加 費：無料

定 員：100名程度

受付期間：4月18日(火)～5月8日(月)

※定員となり次第受付を終了とします。

※受講後のアンケートにご回答いただいた方は、BSIJ-CPD単位(2時間)が自動付与されます。

### ★プログラム概要★

開会挨拶 15時～15時5分

生島 淳平 日本建築積算協会 国際委員会委員・YQS 部会長

第1部：ICMS 最新版について 15時5分～15時55分

横澤 正人 日本建築積算協会 国際委員会 副委員長

・ICMS 第3版の概要と活用事例に関する解説

～休憩～

第2部：PAQS 参加報告 16時～16時50分

日本建築積算協会 国際委員会 YQS 部会メンバー

(星野光哉、川島剛、田中洋介、柴山祐記)

・PAQS2022における当協会の取組と今後のYQS活動に関する報告

総 括：16時50分～16時55分

前田 伸子 日本建築積算協会 専務理事

閉 会：17時予定